

山口大学埋蔵文化財資料館年報  
—令和 2 年度—

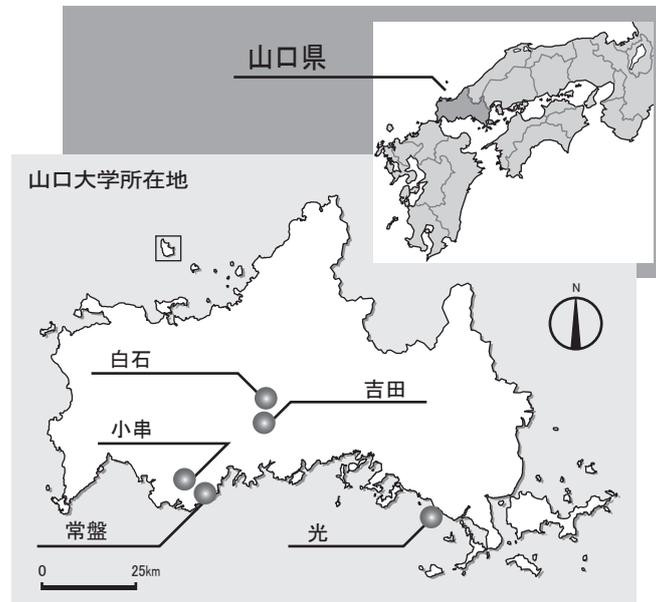
2024

山口大学埋蔵文化財資料館

# 山口大学埋蔵文化財資料館年報

令和2年度 山口大学埋蔵文化財資料館活動報告

令和2年度 山口大学構内遺跡発掘調査概報



2024

山口大学埋蔵文化財資料館

## 序

山口大学埋蔵文化財資料館は、吉田構内をはじめ小串・常盤・白石・光構内に所在する山口大学構内遺跡における埋蔵文化財の保護活動を主要業務としています。発掘調査にて得られた諸成果については、学術的な調査報告書(埋蔵文化財資料館年報)を刊行するだけでなく、実物資料展示や広報誌などを通じて、広く地域社会に公開しています。大学教育においても、当館の展示見学が複数の授業で採用されており、また当館専任教員が学芸員資格課程の授業を担当するなど一定の役割を担っています。また、近年は県内博物館との連携事業にも取り組んでおり、その活動の場を広げています。

令和2(2020)年度は、長期におよび本邦を襲ったコロナ禍の1年目に当たります。本学においてもその影響は多方面に現れ、当館の展示活動は同年秋まで停止を余儀なくされ、秋以降は様々な制限のもと、活動を再開させることになりました。

埋蔵文化財保護業務に関しても、地下の掘削を伴う工事計画は減少し、工事立会は農作業に伴うものを含め吉田構内での5件、小串構内の1件のほか、光構内での確認調査1件にとどまりました。

一方で、生じた時間の有効活用も行われ、館に所蔵される未公開資料、未公開情報の整理作業が進行したことにより、本書に所収される付篇として結実したことは、当館として転禍為福と感じています。

本書には、令和2年度に当館が実施した構内遺跡の調査成果をはじめ、収蔵資料の調査報告、展示活動や社会連携活動、館員の研究活動等を収録しております。本書が山口大学および学外研究機関、地域社会において幅広く活用されることを願います。

当館は、人的な埋蔵文化財保護体制の維持をはじめ、出土品や調査記録の整理・保管場所の不足が年々深刻化するなど、多くの課題を抱えています。学内ばかりでなく、地域に開かれた学術研究・教育の場として活用していただけるよう、全力を尽くして取り組む所存です。末尾となりますが、これまで当館の調査・研究活動にご支援、ご協力を頂いた関係機関、関係各位に心から厚く御礼申し上げますとともに、今後とも変わらぬご理解、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年3月

山口大学埋蔵文化財資料館長

Loehr Marc

## 例言

1. 本書は、山口大学埋蔵文化財資料館（以下「資料館」と呼称）が令和2年度に実施した山口大学構内の遺跡発掘調査成果報告と、同年度に資料館が実施した社会教育等の活動報告を記したものである。
2. 構内遺跡発掘調査に関しては、現地での調査は資料館員である田畑直彦（資料館助教）・横山成己（資料館助教）・水久保祥子（資料館技術職員）が担当した。
3. 発掘調査における現地での実測と写真撮影は田畑・横山・水久保が行った。製図・整図は田畑・横山・水久保が行った。
4. 文化財保護法に伴う事務は、事務局情報環境部学術情報課総務係（当時）が統括した。
5. 発掘調査の諸記録類と出土資料は資料館で適正に保管している。
6. 本文の執筆分担は目次に記した。
7. 本書の編集は館員の補助を得て横山が行った。

## 凡例

1. 山口大学の吉田・白石・小串・常盤・光構内は、いずれもが文化財保護法(法律第214号)で示される「周知の埋蔵文化財包蔵地」内に位置する。各構内の位置する遺跡名は以下の通りである。

吉田構内～吉田遺跡      白石構内～白石遺跡      小串構内～山口大学医学部構内遺跡  
常盤構内～山口大学工学部構内遺跡      光構内～御手洗遺跡・月待山遺跡

2. 吉田構内における調査区および層位・遺構の位置は、日本測地系に基づいた国土座標を基準として北から南へ1～24、西から東へA～Zの番号を付して50m方眼に区画した、構内地区割のA-24区南西隅を起点(構内座標 $x=0$ ,  $y=0$ )とする構内座標値で表示している。なお、平面直角座標系第Ⅲ系における座標値( $X$ ,  $Y$ )と構内座標値( $x$ ,  $y$ )とは下記の計算式で変換される。

$$x = X + 206,000$$

$$y = Y + 64,750$$

3. 各遺構は下記の記号で表記することがある。

竪穴住居……SB

掘立柱建物……SH

土壙……SK

溝……SD

柱穴・ピット……Pit・SP

落ち込み……SX

4. 本書で使用した方位は、吉田構内では国土座標を基準とした真北、他の構内では磁北を示す。

5. 標高数値は海拔標高を示す。

6. 土層および土器の色調記号は、農林省農林水産技術会事務局監修『新版標準土色帖』(1976)に準拠した。

8. 遺物の実測図は、下記のように分類した。

断面黒塗り……須恵器、陶器、磁器

断面白抜き……縄文土器、弥生土器、土師器、土師質土器、瓦質土器、石器、木器、金属器、  
瓦

## 本文目次

第1章	令和2年度山口大学埋蔵文化財資料館の活動報告	(横山)	1
第1節	資料館における展示・情報公開活動		
1	山口県大学ML連携特別展『白石遺跡とその周辺～白石から古墳をのぞむ～』	…(水久保)	2
2	令和2年度刊行物	(横山)	3
第2節	資料館における社会教育活動		
1	山口県立山口博物館との共催事業『講座 古代ウォーク』	(横山)	4
第2章	令和2年度山口大学構内遺跡の調査		
第1節	令和2年度に実施した遺跡調査の概要	(横山)	6
第2節	吉田構内(吉田遺跡)の調査		
1	基幹・環境整備(ため池改修)工事に伴う立会調査	(横山)	9
2	農学部附属農場果樹園土壌改良作業に伴う立会調査	(横山)	10
3	農学部授業(生物資源環境科学基礎実験)に伴う立会調査	(横山)	12
4	農学部附属農場ぶどう園植樹作業に伴う立会調査	(横山)	14
5	学生会館(仮称)新営工事に伴う立会調査	(横山)	17
第3節	小串構内(山口大学医学部構内遺跡)の調査		
1	ライフライン再生(特高受変電設備)工事に伴う立会調査	(横山)	18
第4節	光構内(御手洗遺跡・月待山遺跡)の調査		
1	基幹・環境整備(擁壁安全対策)工事に伴う確認調査	(田畑)	19
付節1	令和2年度 山口大学構内遺跡調査要項		21
付節2	山口大学構内の主な調査		23
付篇1	吉田遺跡古代埋没谷出土の木製品(Ⅱ)	(横山)	48
付篇2	平成20年度吉田遺跡出土木製品の樹種同定	((株)吉田生物研究所)	76
付篇3	防府市多々良廃寺跡採取の古代瓦	(水久保)	114
付篇4	館蔵品調査報告―平生町宮原古墳出土遺物―	(横山)	124
付篇5	山口県東部における弥生時代高地性集落出土土器	(田畑)	128

## 挿図目次

第2章第1節 令和2年度に実施した遺跡調査の概要	図27 周辺調査区の位置と出土遺物……………49・50
図1 山口大学吉田・白石構内位置図……………7	図28 動物医療センター改修Ⅲ期工事 第2調査区平面図・断面図……………51
図2 小串・常盤構内位置図……………8	図29 第2調査区谷埋土6直上出土木製品①…53
図3 光構内位置図……………8	図30 第2調査区谷埋土6直上出土木製品②…55
第2章第2節 令和2年度吉田構内（吉田遺跡）の調査	図31 第2調査区谷埋土5直上出土木製品……………55
図4 調査区位置図……………9	図32 第2調査区谷埋土4下層出土木製品①…55
図5 土層断面柱状図……………9	図33 第2調査区谷埋土4下層出土木製品②…56
図6 調査区位置図……………10	図34 第2調査区谷埋土4上層出土木製品①…56
図7 調査区平面図……………11	図35 第2調査区谷埋土4上層出土木製品②…57
図8 調査区位置図……………12	図36 第2調査区谷埋土4上層出土木製品③…58
図9 A・B地点土層断面柱状図……………13	図37 第2調査区谷埋土4上層出土木製品④…59
図10 調査区位置図……………14	図38 第2調査区谷埋土4上層出土木製品⑤…60
図11 第1～3地点土層断面柱状図……………14	図39 第2調査区谷埋土4上層出土木製品⑥…61
図12 第4～6地点土層断面柱状図……………15	図40 第2調査区谷埋土3出土木製品……………62
図13 第7～9地点土層断面柱状図……………15	図41 第2調査区谷埋土2出土木製品……………62
図14 第10～13地点土層断面柱状図……………16	図42 第2調査区谷左岸肩部木製杭・矢板①…63
図15 調査区位置図……………17	図43 第2調査区谷左岸肩部木製杭・矢板②…64
図16 土層断面柱状図……………17	付篇3 防府市多々良廃寺跡採取の古代瓦
第2章第3節 令和2年度小串構内（山口大学医学部構内遺跡） の調査	図44 多々良廃寺跡周辺遺跡分布図……………115
図17 調査区位置図……………18	図45 多々良廃寺跡採取瓦実測図①……………116
図18 土層断面柱状図……………18	図46 多々良廃寺跡採取瓦実測図②……………117
第2章第4節 令和2年度光構内（御手洗遺跡・月待山遺跡）の調査	図47 多々良廃寺跡採取瓦実測図③……………118
図19 調査区位置図……………19	付篇4 館藏品調査報告－平生町宮原古墳出土遺物－
図20 A地点土層断面柱状図……………20	図48 平生町大野の主な横穴式石室墳 の位置……………124
第2章付節2 山口大学構内の主な調査	図49 宮原古墳出土遺物……………126
図21 山口大学吉田構内地区割および 主な調査区位置図……………41・42	図50 宮原古墳出土遺物（当館所蔵）……………127
図22 山口大学白石構内（幼稚園・小学校） 調査区位置図……………43	付篇5 山口県東部における弥生時代高地性集落出土土器
図23 山口大学白石構内（中学校） 調査区位置図……………44	図51 関連遺跡位置図……………128
図24 山口大学小串構内調査区位置図……………45	図52 沓松遺跡位置図……………128
図25 山口大学常盤構内調査区位置図……………46	図53 出土遺物実測図（土器）①……………129
図26 山口大学光構内調査区位置図……………47	図54 植山遺跡・千束遺跡位置図……………130
付篇1 吉田遺跡古代埋没谷出土の木製品（Ⅱ）	図55 出土遺物実測図（土器）②……………132

## 写真目次

第1章第1節 令和2年度資料館における展示・情報公開活動	写真32 第7地点土層断面……………15
写真1 特別展ポスター……………2	写真33 第8地点土層断面……………15
写真2 展示の模様……………2	写真34 第9地点土層断面……………15
写真3 令和2年度埋蔵文化財資料館刊行物 ……3	写真35 第10地点土層断面……………16
第1章第2節 令和2年度資料館における社会教育活動	写真36 第11地点土層断面……………16
写真4 山口市長野公民館での資料熟覧……………5	写真37 第12地点土層断面……………16
写真5 大塚1号墳見学・解説……………5	写真38 第13地点土層断面……………16
写真6 大内長野から大内氷上へ……………5	写真39 北西壁土層断面……………17
写真7 氷上橋から仏供田遺跡遠望・解説……………5	第2章第3節 令和2年度小串構内（山口大学医学部構内遺跡）
写真8 妙見社2号墳へ……………5	の調査
写真9 大内氷上古墳見学・解説……………5	写真40 調査地点土層断面……………18
第2章第1節 令和2年度に実施した遺跡調査の概要	第2章第4節 令和2年度光構内（御手洗遺跡・月待山遺跡）の調査
写真10 吉田構内航空写真……………7	写真41 調査区西部調査前状況……………19
写真11 白石構内（教育学部附属山口幼稚園・小学校）	写真42 調査区全景……………19
航空写真……………7	写真43 調査区西部土層断面……………20
写真12 白石構内（教育学部附属山口中学校）	写真44 調査区東部掘削状況……………20
航空写真……………7	写真45 B地点土層断面……………20
写真13 小串構内航空写真……………8	付篇2 平成20年度吉田遺跡出土木製品の樹種同定
写真14 常盤構内航空写真……………8	写真46 木製品顕微鏡写真①……………81
写真15 光構内航空写真……………8	写真47 木製品顕微鏡写真②……………82
第2章第2節 令和2年度吉田構内（吉田遺跡）の調査	写真48 木製品顕微鏡写真③……………83
写真16 堤体土層断面……………9	写真49 木製品顕微鏡写真④……………84
写真17 調査区全景……………10	写真50 木製品顕微鏡写真⑤……………85
写真18 調査区風景……………10	写真51 木製品顕微鏡写真⑥……………86
写真19 遺構g・h検出状況……………11	写真52 木製品顕微鏡写真⑦……………87
写真20 遺構d・e検出状況……………11	写真53 木製品顕微鏡写真⑧……………88
写真21 遺構a検出状況……………11	写真54 木製品顕微鏡写真⑨……………89
写真22 調査区南端部土層断面……………11	写真55 木製品顕微鏡写真⑩……………90
写真23 A地点土層断面……………13	写真56 木製品顕微鏡写真⑪……………91
写真24 B地点土層断面……………13	写真57 木製品顕微鏡写真⑫……………92
写真25 掘削状況……………14	写真58 木製品顕微鏡写真⑬……………93
写真26 第1地点土層断面……………14	写真59 木製品顕微鏡写真⑭……………94
写真27 第2地点土層断面……………14	写真60 木製品顕微鏡写真⑮……………95
写真28 第3地点土層断面……………14	写真61 木製品顕微鏡写真⑯……………96
写真29 第4地点土層断面……………15	写真62 木製品顕微鏡写真⑰……………97
写真30 第5地点土層断面……………15	写真63 木製品顕微鏡写真⑱……………98
写真31 第6地点土層断面……………15	写真64 木製品顕微鏡写真⑲……………99

写真65 木製品顕微鏡写真⑳	100	写真81 多々良廃寺跡採取瓦③	123
写真66 木製品顕微鏡写真㉑	101	付篇4 館藏品調査報告—平生町宮原古墳出土遺物—	
写真67 木製品顕微鏡写真㉒	102	写真82 宮原古墳推定地遠景	124
写真68 木製品顕微鏡写真㉓	103	写真83 宮原古墳推定地近景	124
写真69 木製品顕微鏡写真㉔	104	写真84 宮原古墳出土遺物（当館所蔵）	127
写真70 木製品顕微鏡写真㉕	105	付篇5 山口県東部における弥生時代高地性集落出土土器	
写真71 木製品顕微鏡写真㉖	106	写真85 沓松遺跡遠景	129
写真72 木製品顕微鏡写真㉗	107	写真86 沓松遺跡近景	129
写真73 木製品顕微鏡写真㉘	108	写真87 植山遺跡・千束遺跡・筏山遺跡遠景	131
写真74 木製品顕微鏡写真㉙	109	写真88 植山遺跡	131
写真75 木製品顕微鏡写真㉚	110	写真89 千束遺跡	131
写真76 木製品顕微鏡写真㉛	111	写真90 出土遺物（土器）①	135
写真77 木製品顕微鏡写真㉜	112	写真91 出土遺物（土器）②	136
写真78 木製品顕微鏡写真㉝	113	写真92 出土遺物（土器）③	137
付篇3 防府市多々良廃寺跡採取の古代瓦			
写真79 多々良廃寺跡採取瓦①	121		
写真80 多々良廃寺跡採取瓦②	122		

## 表目次

第1章第1節 令和2年度山口大学埋蔵文化財資料館の活動報告		表14 谷埋土5直上出土木製品の樹種	72
表1 埋蔵文化財資料館利用者の推移	1	表15 谷埋土4下層出土木製品の樹種	72
表2 令和2年度月別入館者数	1	表16 谷埋土4上層出土木製品の樹種	72
第2章第1節 令和2年度に実施した遺跡調査の概要		表17 谷埋土3出土木製品の樹種	72
表3 令和2年度山口大学構内遺跡調査一覧	6	表18 谷埋土2出土木製品の樹種	72
第2章付節2 山口大学構内の主な調査		表19 谷埋土4上層出土木製品（材）の樹種	73
表4 山口大学構内の主な調査一覧表	23	表20 谷埋土4上層出土木製品（火付け木）の樹種	73
付篇1 吉田遺跡古代理没谷出土の木製品（Ⅱ）		表21 谷埋土出土木製品（火付け木）の樹種	73
表5 谷埋土6直上出土木製品観察表	65	表22 谷左岸肩部杭・矢板の樹種	73
表6 谷埋土5直上出土木製品観察表	65	表23 谷埋土出土木製品（杭）の樹種	73
表7 谷埋土4下層出土木製品観察表	65	付篇3 防府市多々良廃寺跡採取の古代瓦	
表8 谷埋土4上層出土木製品観察表	66	表24 出土遺物（瓦）観察表	123
表9 谷埋土3出土木製品観察表	70	付篇4 館藏品調査報告—平生町宮原古墳出土遺物—	
表10 谷埋土2出土木製品観察表	70	表25 出土遺物（土器）観察表	127
表11 谷左岸肩部杭・矢板観察表	71	付篇5 山口県東部における弥生時代高地性集落出土土器	
表12 木製品の樹種（全体）	71	表26 出土遺物（土器）観察表	137
表13 谷埋土6直上出土木製品の樹種	71		

## 報告書抄録

ふりがな	やまぐちだいがくまいぞうぶんかざいしりょうかんねんぼう
書名	山口大学埋蔵文化財資料館年報
副書名	—令和2年度—
巻次	
シリーズ名	山口大学埋蔵文化財資料館年報
シリーズ番号	18
編著者名	田畑直彦 横山成己 水久保祥子
編集機関	山口大学埋蔵文化財資料館
所在地	〒753-8511 山口県山口市吉田1677-1 TEL083-933-5035
発行年月日	西暦2024年(令和6年)3月29日

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
吉田遺跡	集落	古代 中世	土壇 ピット		
山口大学 医学部構内遺跡	散布地				

山口大学埋蔵文化財資料館年報  
— 令和2年度 —

令和6年3月29日

編集 山口大学埋蔵文化財資料館

発行 山口大学

〒753-8511 山口市吉田1677-1

印刷 (有)三共印刷

〒759-0204 宇部市大字妻崎開作1953-8

